

2018年12月期 決算説明



内外トランスライン株式会社 東証一部 9384
International Freight Forwarder

1. 決算概要
2. 当社グループ別業績
3. 2019年通期計画等

1. 決算概要

今期連結売上高は過去最高額。
第1四半期は低調なスタートであったが、
第2四半期、第3四半期、第4四半期の
各四半期において営業利益、経常利益が
過去最高益と挽回し、2018年度の業績伸張
となった。

連結概要説明

連結損益計算書

- 単体の主力輸出混載ならびにフルコンテナ輸送の取扱量が増加し、国内子会社の輸出航空輸送、海外子会社内外銀山口ロジスティクスも前年に引き続き順調に業績を伸ばし、連結売上高7.1%、営業利益7.8%、経常利益4.3%の増加

連結貸借対照表

- 主に現金及び預金6.4億円の増加により流動資産は8.0億円増加し、総資産は8.6億円増加の109.6億円
- 純資産は86.0億円、利益剰余金は8.2億円の増加及び為替換算調整勘定2.0億円の減少により自己資本は5.9億円増加の80.9億円となり、自己資本比率は73.8%

連結キャッシュ・フロー計算書

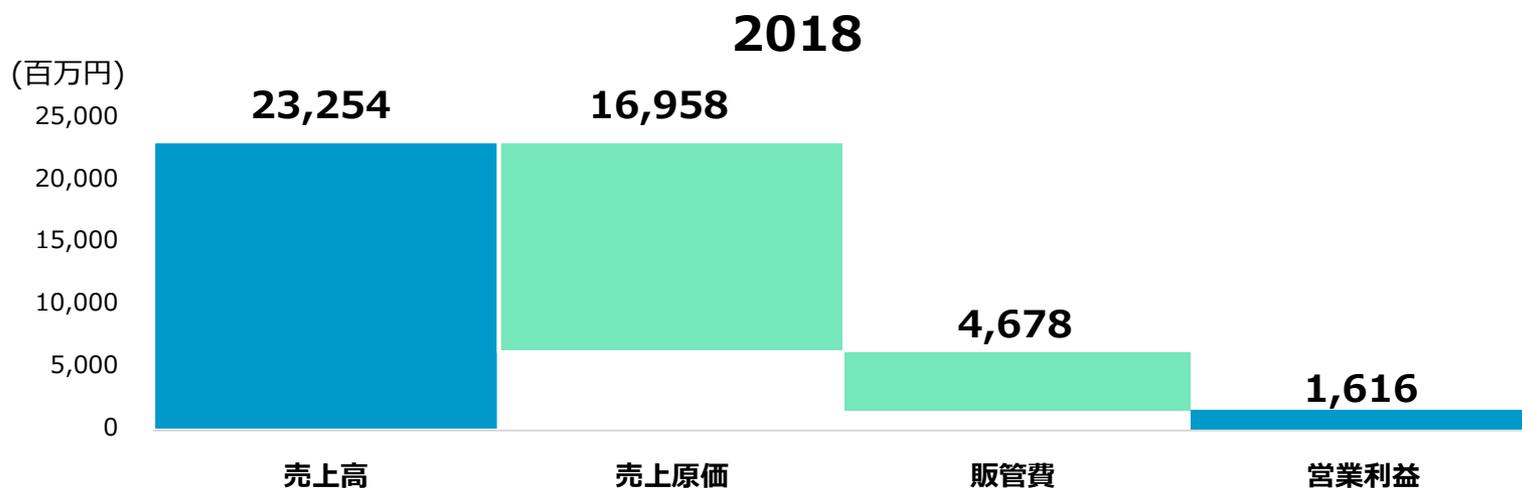
- 当期純利益を中心に営業C/Fは 14.5億円
- 有形固定資産の取得による支出等で投資C/Fは△3.5億円
- 配当金の支払により財務C/F は△3.1億円
- 結果、現金及び現金同等物の期末残高は6.4億円増加し、57.4億円

連結の業績

単位:百万円	2017	2018	対前年 増減率(%)	2018 期初計画	対計画 増減率(%)
売上高	21,709	23,254	7.1	23,000	1.1
営業利益	1,500	1,616	7.8	1,700	-4.9
経常利益	1,588	1,656	4.3	1,750	-5.3
親会社株主帰属 当期純利益	1,192	1,146	-3.8	1,300	-11.8
為替レート(USD/円)	112.17	110.45	-1.72	110.00	0.45

(為替レートの増減は円の変動幅)

連結営業利益の概要と増減要因



単位:百万円	2017	対売上構成比	2018	対売上構成比
売上高	21,709	100.0%	23,254	100.0%
売上総利益	5,989	27.6%	6,295	27.1%
販管費	4,489	20.7%	4,678	20.1%
営業利益	1,500	6.9%	1,616	6.9%

連結貸借対照表の概要(前期末比)

《主な変動要因》

流動資産	
・ 現金及び預金	+642
・ 売掛金	+113
固定資産	
・ 建物及び構築物	+67
・ ソフトウェア	+33
・ のれん	△30

総資産 (+ 861)	
流動資産 8,086 (+802)	流動負債 1,910 (+214)
	固定負債 452 (+14)
固定資産 2,882 (+59)	純資産 8,606 (+632)
	〔うち自己資本〕 8,096 (+598)
自己資本比率 73.8%	

単位：百万円（ ）内は前期末比増減

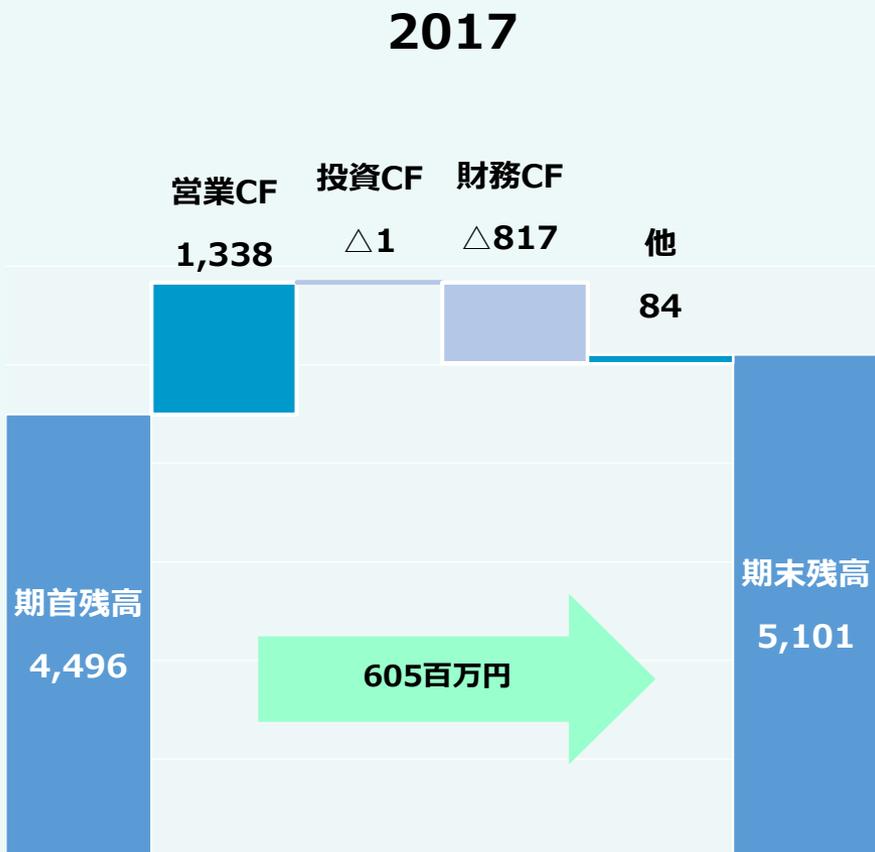
《主な変動要因》

流動負債	
・ 買掛金	+46
・ 未払法人税等	+29
純資産	
・ 利益剰余金	+826
・ 為替換算調整勘定	△204

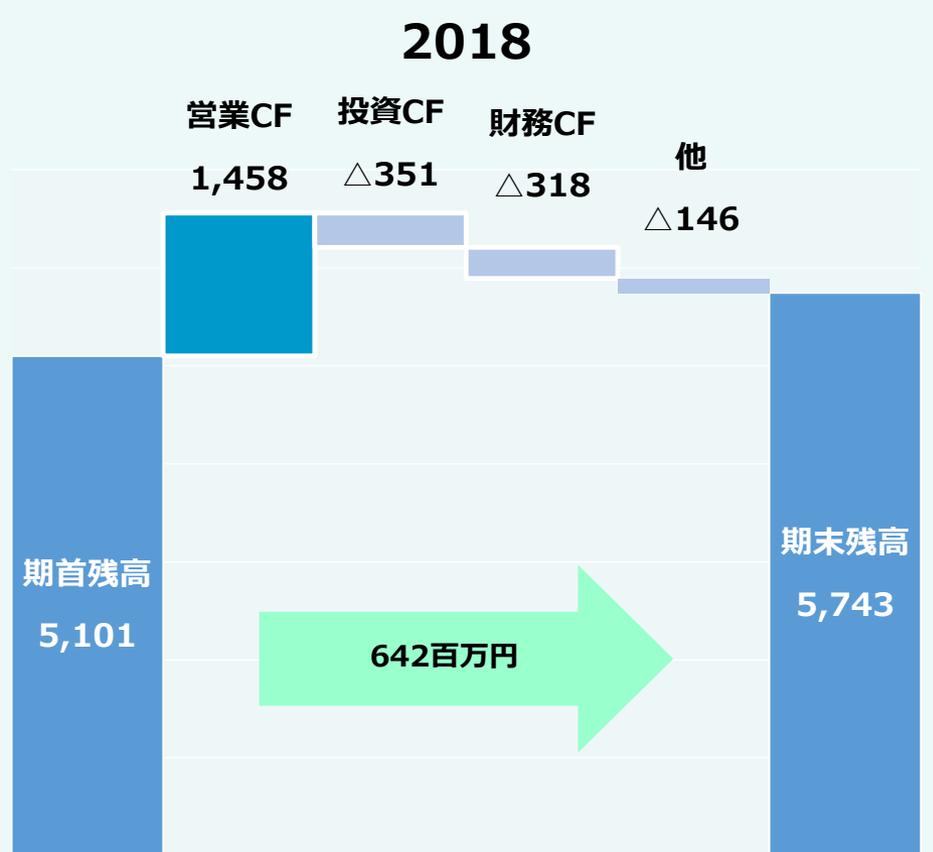
連結キャッシュ・フロー計算書の概要

単位：百万円

2017



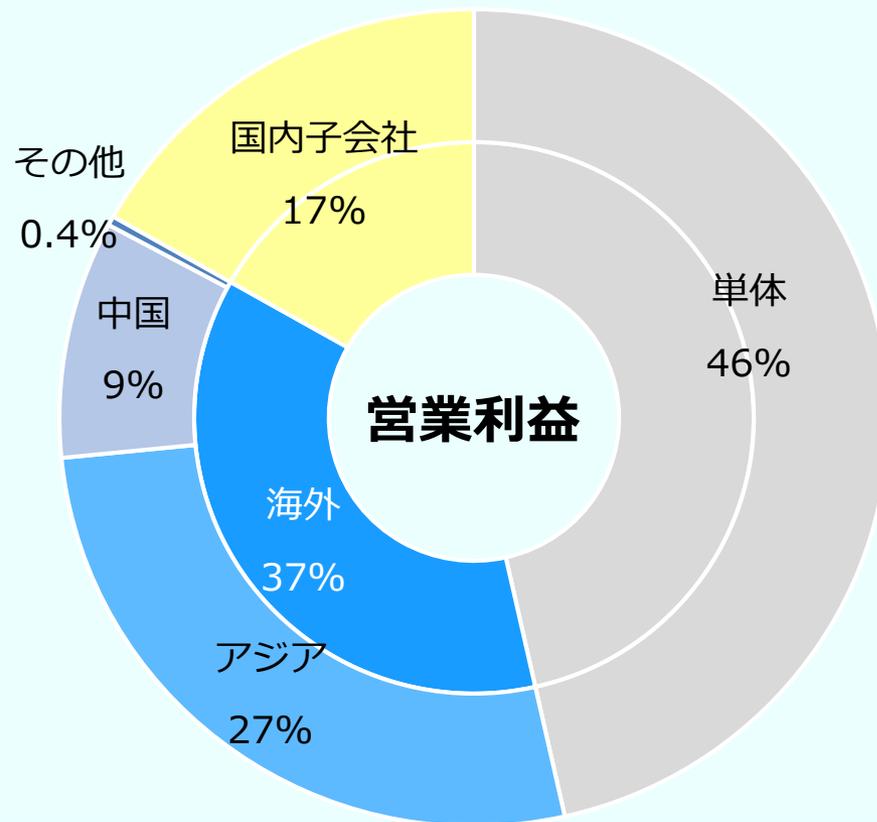
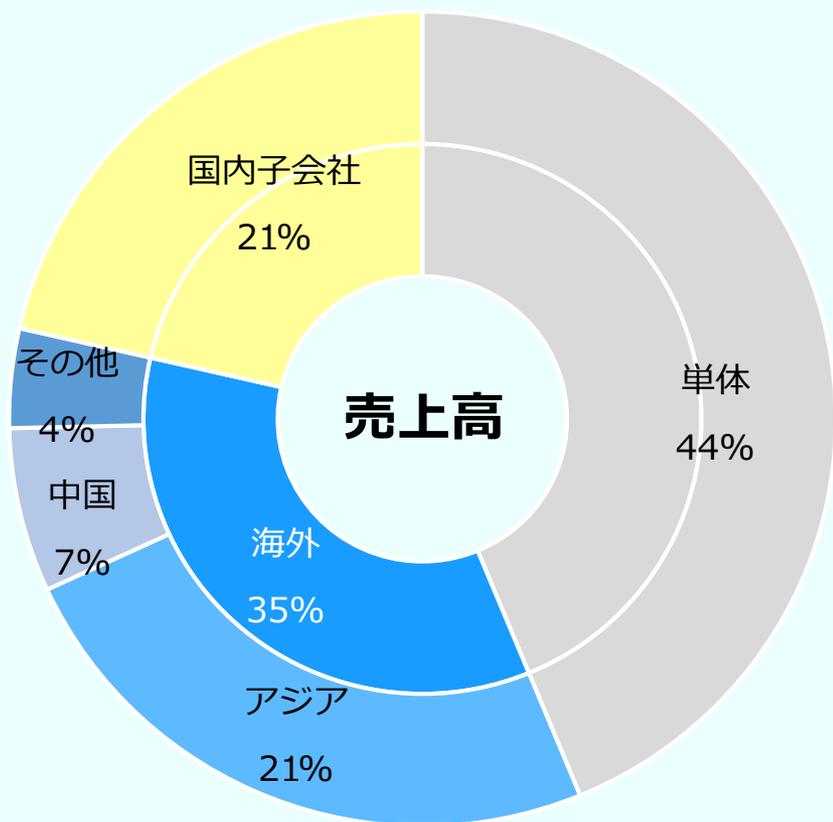
2018



2. 当社グループ別業績

当社グループ地域別売上高・営業利益シェア

2018



* 内部取引調整前

3. 2019年通期計画等

連結業績予想

単位：百万円

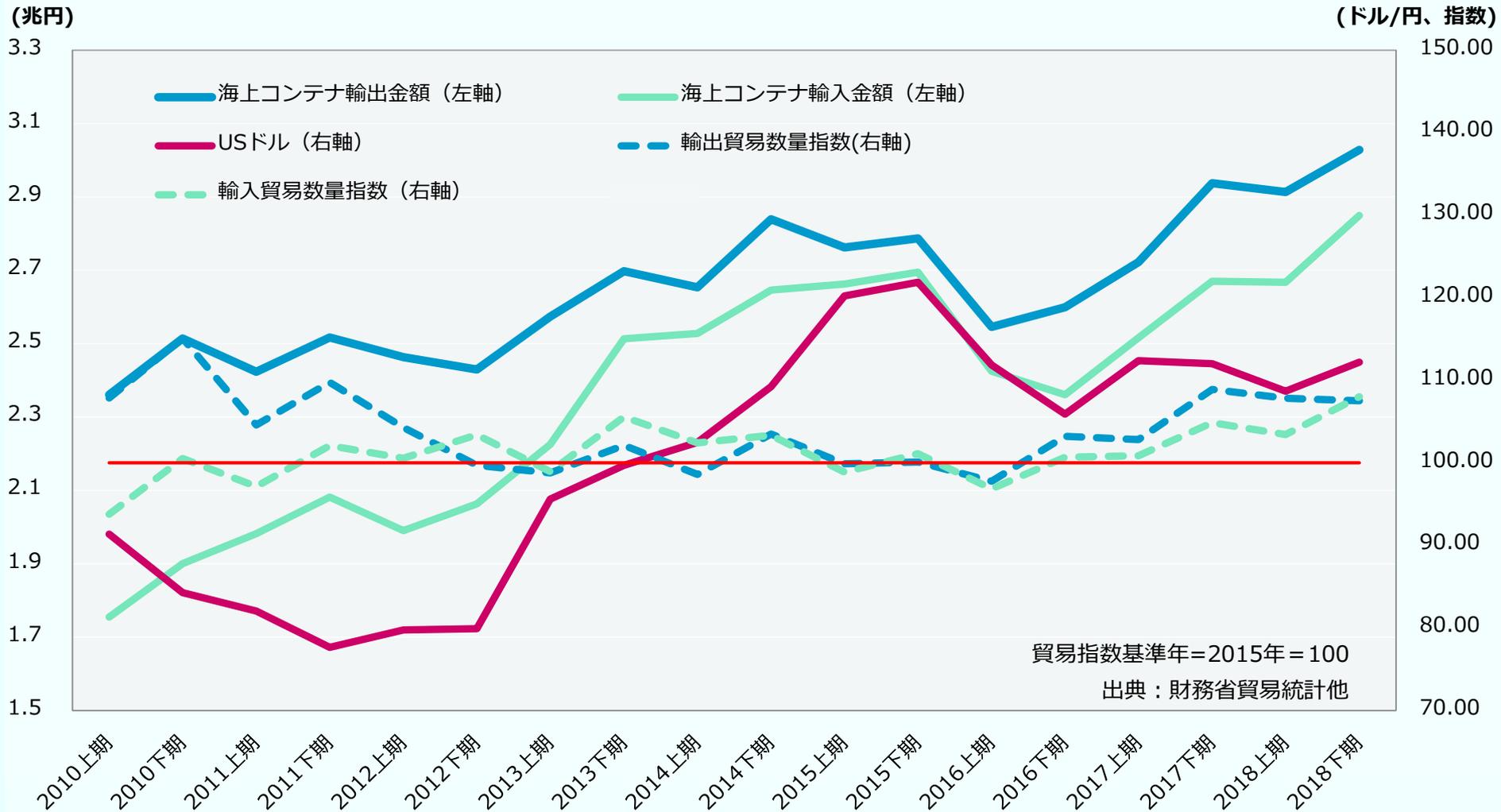
売上高



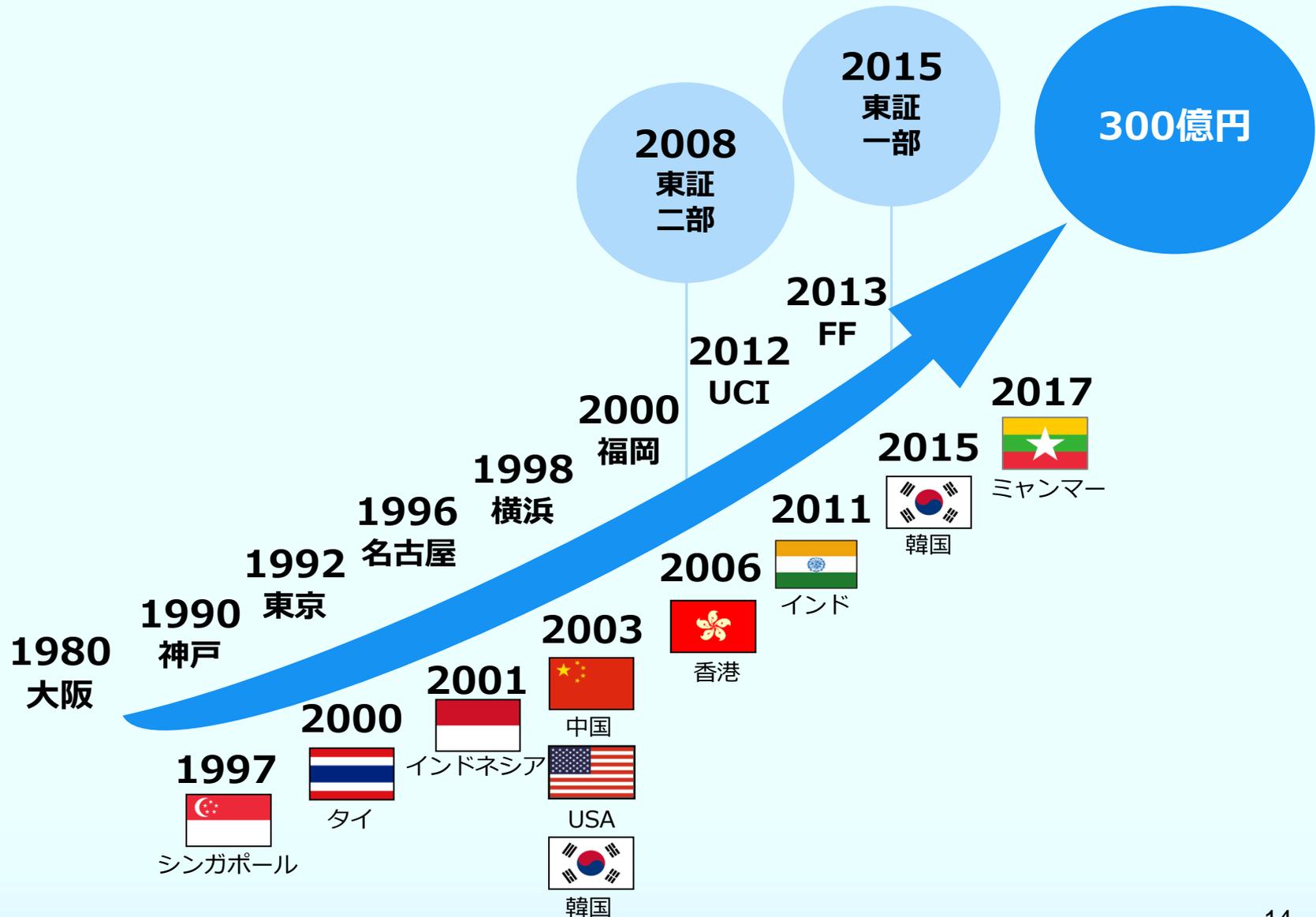
営業利益



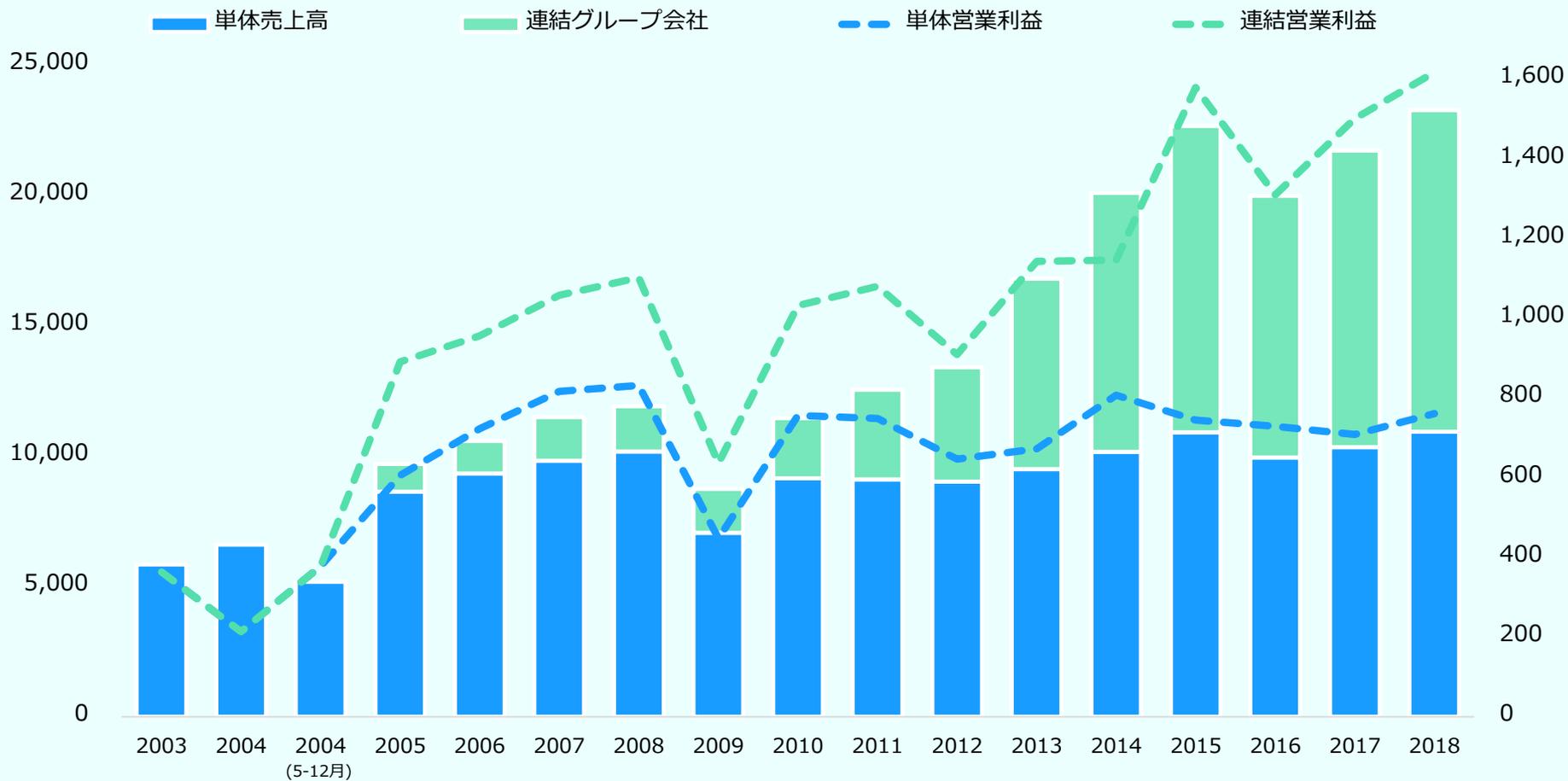
事業環境(輸出入動向とドルレート推移)



当社グループ成長の軌跡



連結売上高と営業利益の推移



* 2004年に決算期を4月から12月に変更(2004年5月~12月:8ヶ月決算)

単位：百万円

当社グループ成長と中期経営計画



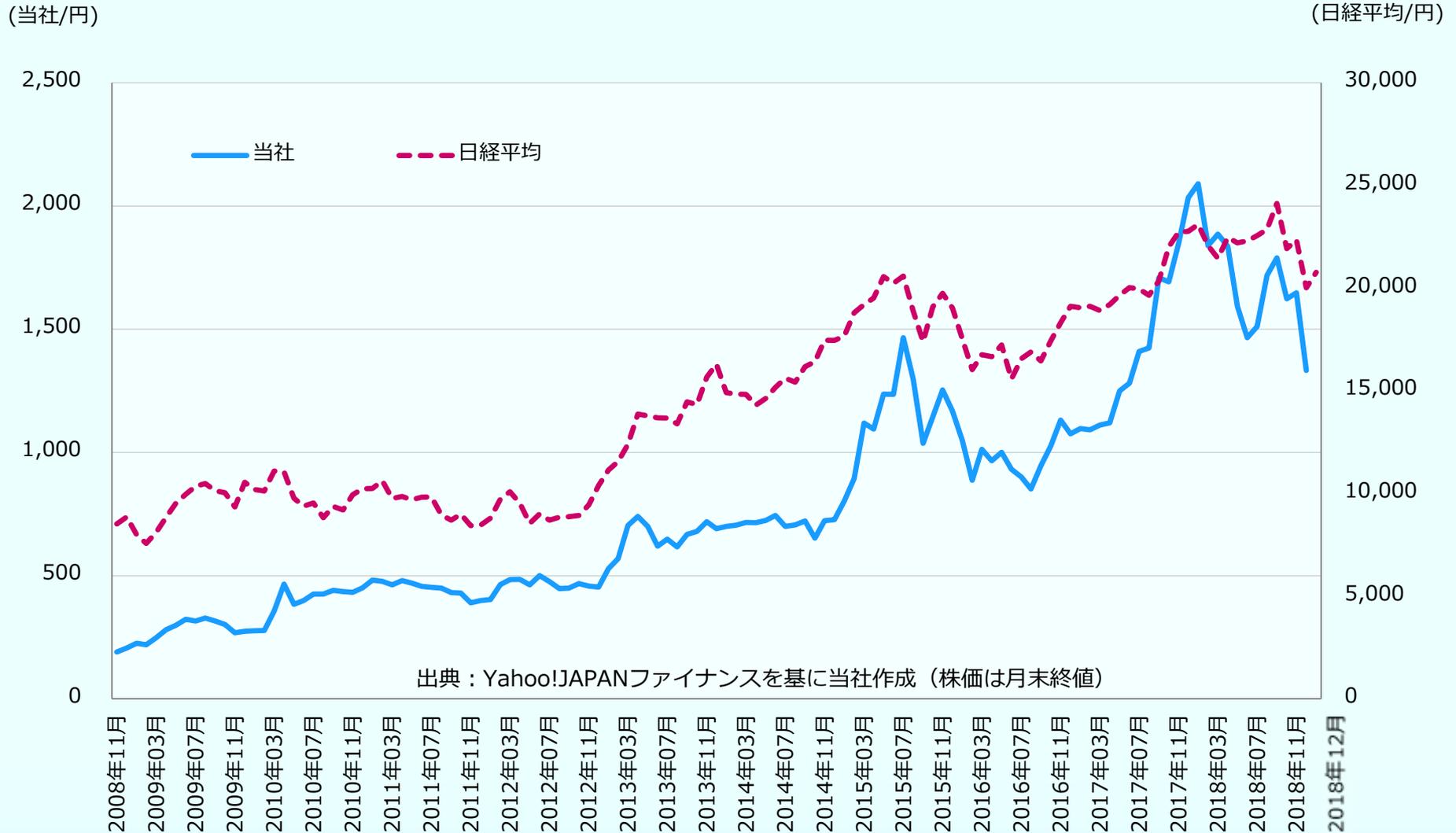
配当金の実績と予想

(配当金/円)
40.00



※2012年と2015年6月末日を基準日としてそれぞれ1：2の株式分割を実施、上記金額は分割後配当額にて表示

当社株価の推移



ご清聴ありがとうございました

取締役 IR担当 田中 俊光
三根 英樹

TEL 06-6260-4800

FAX 06-6260-4713

URL <http://www.ntl-naigai.co.jp>



内外トランスライン株式会社

International Freight Forwarder

認定通関業者(AEO通関業者制度)



AEOのメリット

通関業者

- **税関手続きの緩和・簡素化(迅速化)**
顧客利便性の向上と円滑な通関手続き
- **輸出入申告官署自由化**
最寄りの税関に対して輸出入申告が可能となることによる事務の効率化・コスト削減

お客様

- **特例委託輸入申告**
輸入貨物到着前の輸入申告、引き取り後の納税申告が可能
- **特定委託輸出申告**
保税地域等に貨物を搬入することなく輸出許可を受けることが可能

インド現地法人 セーラム倉庫の拡張

NTL-LOGISTICS(INDIA)PRIVATE LIMITED

セーラム地区における
倉庫需要の増大



約1.7倍

(14,350m²)
4,350坪
7月2日竣工

(8,600m²)
2,610坪

セーラム立地

- インド南部の中央
- 複数都市へのハブ
- 幹線道路に面しスピーディな配送可能

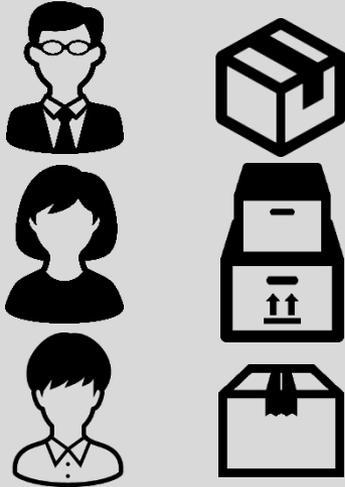


海上コンテナ輸送のイメージ

規格サイズのコンテナによる積載効率・時間の短縮
定曜日サービスによる確実な所要日数
地球にやさしく大量輸送が可能



海上輸送の種類（混載・フルコンテナ）



混載：1本のコンテナに複数荷主の貨物を積載
= 収益機会が複数



フルコンテナ：1本のコンテナに1社の貨物を積載
= 収益機会が一度



事業概要

貨物利用運送事業 (国際)

国際総合フレイトフォワード

荷主(企業)からの貨物を預かり、他の業者の運送手段(船舶・航空・鉄道・貨物自動車等)を利用し国際輸送を行う。当社は海上混載輸送を主力としている。

海上混載 (LCL)輸送とは?

複数荷主の複数貨物を1コンテナに混載し輸送することを言います。

例えば神戸港から香港向けに20'コンテナ1本の混載を仕立てる場合、

船会社からの買値 : \$150/20'

当社の売値 : \$ 15/RT* とすると、

20RT集荷して詰めると : \$15 x 20RT=\$300 (利益\$150)

10RT集荷して詰めると : \$15 x 10RT=\$150 (利益\$0)

貨物量が多く詰められれば収益率が上がります。

また荷主にとって1本のコンテナに満たない物量であれば小口混載を利用することで輸送コストが割安になります。

*Revenue ton=換算トン



NTLグローバルネットワーク

日本 (3社 13拠点)

韓国 (2現法 3拠点)

中国 (2現法 7拠点)

東南アジア (4現法)

インド (1現法 5拠点)

米国 (1現法 2拠点)

グループ売上高シェア(2018年)

国内 : 65%

海外 : 35%

(内部取引調整前)



プラス海外代理店とのネットワークで
日本の主要港10港から
世界主要国23カ国に向けて
毎週203便のサービス!